

社協だより

October 2024 No.120

Beside you

... あなたのそばに ...



CONTENTS

P 2 特集
みんなで取り組む防災
～能登半島地震から学ぶこと～ 10月1日～12月31日

P 4 赤い羽根共同募金
P 5 相談支援の報告とお知らせ
P 6 ボランティアだより
P 8 社協行事のお知らせ
P 10 老人クラブ通信・チャリティーゴルフ大会
P 11 障がい者福祉の会・児童館
P 12 我が家のプチ自慢

表紙写真：赤い羽根共同募金

(関連記事 P 4 をご覧ください。)



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会

特集

みんなで取り組む防災～能登半島地震なるにつに～

元日の穏やかな夕暮れ時を襲った地震で能登半島は大きな被害を受けました。大月市でも震度2が観測されるなど震源から離れた関東や近畿地方でも揺れを感じました。また、8月8日には日向灘を震源とする地震が発生し、史上初めて南海トラフ地震臨時情報が発表され、地震に対する恐怖感が一気に高まり、防災に対する意識が高まったことと思います。

日本列島は地震だけでなく、風水害や火山の噴火などいつ災害が発生し、被災者となるかわかりません。そんな状況だからこそ、今一度、防災について考えてみませんか？



○自分たちにできること
～備えあれば憂いなし～
災害発生時には、家族のことや家のことなど心配なことが多くあると思います。しかし、まずは自分の身を守ることが最優先です。自分の身の安全を確保することで家族や周囲への支援ができるようになります。そのためには日頃からの備えが必要となります。

①家具の設置の仕方
震災の際には家具が倒れて下敷きになり大きな被害が発生する恐れがあります。家具の設置場所の確認や転倒防止対策をしておきましょう。
②食料・飲料の備蓄
最低3日。できれば1週間分が望ましいとされています。避難所に行けば支援してもらえらるから大丈夫と考えている方もあるかと思いますが、避難所の備蓄も十分な量が確保されているとも限りません。また、支援物資も大規模災害などで

はすぐに届くとは限りません。そのためにも日頃から工夫しながら備蓄しておきましょう。
③避難経路の確認
住んでいる地域のハザードマップを確認し、避難所までの経路を確認しておきましょう。
④家族での安否確認の方法
災害時には携帯電話などつながりにくくなります。災害用伝言ダイヤル「171」の活用など日頃から家族でいざという時の連絡手段を決めておきましょう。

○みんなで協力して取り組むこと
～困ったときはお互い様～

昨年度、作成した「第4次地域福祉活動計画」にも挙げさせていただきましたが、自分たちの住んでいる地域での支援体制やささえあい活動が必要になります。国や行政が行う支援活動だけでは限界があります。1日でも早い復興のためには住民同士の助け合い活動が必要不可欠になります。実際、今年の能登半島地震でも倒壊した家の中に閉じ込められた人を近所の方たちが協力して救助した例や、崩れてしまった塀などを撤去して道路を通行できるように

能登半島地震
災害ボランティアセンター
職員派遣報告

6月24日から6月30日まで、石川県災害ボランティアセンターからの要請を受け、能登町災害ボランティアセンターの運営スタッフとして職員を派遣しました。

震災から約半年が経過したこともあり、街の中は少しずつ活気を取り戻しつつありますが、倒壊してしまった建物がそのまま残されていたり、地滑りにより崩れた斜面がむき出しになっていたりしていました。また、損壊した家も多く、ブルーシートで覆われているなど、被災の爪痕が多く残っており、復興にはまだまだ時間がかかると感じさせられました。

ニーズとしては、災害廃棄物の撤去・搬出が多く上がっており、全国から有志でやってきたボランティアの方々が精力的に活動していました。派遣を通して、被災現場を直接見たり、被災者やボランティア活動をされている方から話を伺ったりと様々な貴重な経験をしました。大月市で災害が発生した際には、これらの経験を活かせるようにしていきたいと考えています。

した例など、震災直後で公的な支援が入れない時でも、地域の方々が協力して行動することで被災につながっています。このような直接的な支援も助け合いとして重要なこととなりますが、直接的な支援が出来なくても平時から取り組むこととして、自分の近所のことを把握しておくことが大切です。近所にはどんな方がいて、どんな支援が必要としているのか知っておくことで、いざという時に声を掛け合い被害が最小限にできたり、逃げ遅れた方が把握できることで救助が迅速に行えたりすることができます。また、被災後の生活で話し相手など心の支えにもなってくれます。

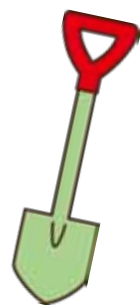
○災害ボランティアセンター
～持ちつ持たれつ～

大月市でも災害が発生した際には、ボランティア活動を円滑に進めるための災害ボランティアセンターを社会福祉協議会が中心となって開設します。

【災害ボランティアセンターの役割】
①被災者のニーズ（困りごとなど）の把握
②災害ボランティアの受付・登録
③災害ボランティアとニーズのマッチング
④関係機関との連絡調整



いつ起こるか分からない災害。被害を最小限にし、1日でも早く普段の生活を取り戻せるように普段の生活から少しずつ取り組んでみましょう。



相談支援の報告とお知らせ

「成年後見制度について学ぼう」

7月19日（金）に成年後見制度研修会を開催しました。
大月市社協では、今年度より法人後見事業を開始しました。事業を始めるにあたり、まず市民の皆様へ「成年後見制度とはどんな制度なのか？」「どんなことができるのか？」などを知ってもらいたいと思います。研修会を計画しました。当日は住民の方や介護保険事業所の方など、29名の方が参加し、講師には、リーガルサポート山梨・副支部長の篠田貴子氏を招き、成年後見制度の基本的な仕組みや後見人の業務など、自らの実体験の事例を交え分かりやすく説明していただきました。参加者も自身が抱えている問題を質問されている方も見られ有意義な研修会となりました。

研修会のアンケートの中にも「成年後見制度を身近に感じることが出来た」「分かりやすくて良かった」「参加されている方の意見や事例を聞くことが出来て良かった」「親亡きあとの障がいをもつ子どもが安心して生活できるようにするための準備と成年後見人制度についてもっと聞きたい」などの感想をいただき、成年後見制度への関心の高さがうかがえました。

次回は令和7年1月9日（木）午後1時半から開催します。興味・関心のある方は、ぜひ参加してください。



日常生活自立支援事業 市民生活支援員養成講座

8月27日（火）市民生活支援員養成講座を開催しました。
今回の受講生は7名で、日常生活自立支援事業の内容や市民生活支援員の役割などの説明を行い、事業に対する理解を深め、市障害者支援担当の職員から障害のある方や、認知症のある方への対応について学びました。
また、現在活動している市民生活支援員6名の方も一緒に受講し、現在の活動状況や活動のやりがい、大変なことなどを受講生たちに伝えました。このような講座を通して、他者への理解や助け合いの心を再認識していただけたらと願っています。



司法書士相談

8月24日（土）司法書士相談を開催しました。
平日は、忙しくて相談に行けないという方のために土曜日に開催し、ご好評いただきました。

当日は、相続や登記、借金の返済などの相談があり、司法書士の優しく分かりやすい説明を受け、相談者も少し気持ちが楽になった様子でした。

次回は10月5日（土）午前10時・10時30分・11時から開催します。まだ、定員の枠がありますので、お申し込みください。

○問合せ先 大月市社会福祉協議会相談支援担当 23-2001

令和6年度

赤い羽根共同募金運動 が

10月1日から始まります！

皆様のご協力をお願いします！

● 大月市の目標額

5,415,000円

● どうして目標額があるの？

赤い羽根共同募金は、寄せられた募金を助成先などに単純に配分しているわけではありません。地域福祉を進めるために、どれくらい募金が集まれば必要な事業を行うことができるかあらかじめ計画を立て、それに基づいて目標額を設定し、募金活動を行います。そのため目標額は、最小限度の必要額となります。

● 募金の使い道は？

昨年、大月市でご協力いただいた募金総額は、5,782,832円であり、このうち約7割は今年度の大月市に配分され、残りの約3割は山梨県内の福祉活動などに役立てられています。

大月市では…

- ・老人憩いの家備品整備・修繕事業
 - ・地区社協活動推進事業
 - ・いきいきサロン助成事業
 - ・ボランティアサークル等育成事業
 - ・社協だより発行事業
 - ・ファーストスプーン事業
- など地域の福祉活動に使われています。



山梨県では…

- ・県内福祉施設への助成
 - ・赤い羽根共同募金啓発活動事業
 - ・被災者支援金（災害義援金など）
- など山梨県全域及び全国の被災地など広域で使われています。



赤い羽根共同募金は

大月市をよくするしくみであり

大月の地域福祉活動を支える力になります！



大月市ボランティア協議会では、昨年度に引き続き、かがり火市民祭り翌日の朝、実行委員会の役員さんと一緒に、会場周辺の清掃活動を実施しました。

当日は、14名のボランティア会員が参加し、メイン会場となった大月東小学校校庭、また学校周辺の清掃を行いました。

会場周辺には、目の届かないような雑草の中に、紙コップや食べ物の容器等のゴミがありました。

清掃を終えて周辺を見直した会員さんは、とても晴れやかな表情をしていました。

朝早くから暑い中の活動、本当にお疲れさまでした。

来年度以降も大月市ボランティア協議会は「かがり火市民祭り」に協力していきます。



ありがとうございます ご寄附と収集ボランティア活動の報告 (8月31日㊦㊦-着受付分)

●寄附金

大月市ダンス愛好会 5,000円／匿名 10,000円 (敬称略)

●ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレフォンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶・ハガキ・切手・マスクなど

玉木海斗／つゆくさの会／佐野佳夫／就労支援事業所めばえ／グループホームあおば／小俣保治／田中加代子／下真木ふれあいサロン／水越繁子／小林清美／中村律子／望月愛子／佐藤総明／佐藤希代美／シゲパワー／駒米秀悦／入鹿山節子／林博之／高鳥豪／水越孝之／小俣清明／平井製作所／福泉寺(藤崎)／大月富士見苑／大石豊／大月保全・サービスセンター／小林柚実子／キリストの教会幼稚園／吉角務／鈴木綾子／杉本文子／豊島周作／瀬川志保／梁川ボランティア協議会／真木老人クラブ／無辺寺／金澤佐枝子／おおつきひまわりの会／大月カントリークラブ／清水商事／和田アカデミー／小俣みずき／(株)山梨スポーツ／小碓和美／NEXCO中日本／久保田勲／中西春子／渡邊行夫 (敬称略)

大月市ボランティアセンター
(大月市社会福祉協議会内)
大月町花咲10
(大月市総合福祉センター)
電話:0554-23-2001

●皆様のご協力に感謝いたします。
今後ともよろしくお願いいたします。

ボランティアだより

No.85

「福祉講話」

「山梨県立都留高等学校定時制 7/3」

昨年に引き続き、都留高等学校定時制にて「福祉講話」を実施しました。

これまででは手話通訳士を講師として実施していましたが、今年度初の試みとして、手話通訳士の白壁由里子さんと一緒に、聴覚障がい者の関根ふじゑさんを講師として迎えて実施しました。

手話で自己紹介や挨拶を教えていただき、生徒一人一人、手話で表現しました。昨年度も学んだ生徒は手話を覚えていて、とてもうまく伝えることが出来ていました。

最後に講師の関根さんから「災害時が一番不安、身振りや筆談でもいいから状況を伝えてほしい」とのお話があり、生徒会長から「今日の経験を踏まえ、身近に困っている方がいたら、お手伝いしたいです」と力強い感想を聞くことができました。

「福祉講話」の学習を通し、その人の立場に立って考える行動ができるように学ぶ良い機会になったと思います。



「点字の体験学習イベント」 点字サークル八重桜会7/7

「点字サークル八重桜会」は「点字の体験学習イベント」を桂川ウエルネスパークで実施しました。この日は天気も良く、公園にきた親子の参加や、おばあちゃんと一緒に参加された方もいました。

点字体験では、点字で自分の名刺や、自分の好きな物に貼ることができる点字テープを作成しました。参加された方は、サークルの会員の方々と熱心に点字を打っていました。実際に点字を打つてみて、オリジナルの名刺作りなどを通じて、楽しみながら福祉への理解を深めることができました。

今後このようなイベントを開催していきますので、多くの方に参加していただければと思います。



社協行事のお知らせ

ふれあいスポーツフェスティバルを開催します!!

大月市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者、子ども等の年齢の違いや心身の状態の異なる多くの市民が一堂につどい、スポーツやレクリエーションを通じて、ふれあいを深めることを目的に「大ツキふれあいスポーツフェスティバル（ツキフェス24）」を開催します。

車いすリレーや盆踊り、保育園児によるお遊戯等、楽しいひと時をみんなで過ごしましょう！多くの市民の皆さんの参加をお待ちしております。

日時 10月19日（土）
9時30分～12時30分

会場 大月市民総合体育館
（富浜町鳥沢）

※体育館履き（運動靴）、座布団をご持参くださいますようお願いいたします。

申込み・問合せ先：地域福祉担当
Tel: 23-2001 Fax: 22-2861



第49回

大月市地域福祉推進大会

を開催します！

日時 11月23日（土・祝）

13時30分～15時30分

会場 大月市民会館

「誰もが住みやすく安心して暮らせるまちづくり」をめざし、地域福祉を推進するべく、第49回大月市地域福祉推進大会を開催します。

大会は、第1部で式典、第2部で弁護士の方による講演を予定しています。講演の内容は「法人後見事業」や「成年後見制度」「権利擁護」についてになります。

多くの市民の皆様に、この事業や制度について知っていただく機会になれば良いと考えています。

大月市民の皆さん、11月23日（土）は大月市民会館へ、ぜひ足をお運びください！

▶ 昨年の大会の様子



● お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 総務担当
電話 23-2001(代)

ふれあい福祉バザーのご案内

例年12月上旬に実施している「ふれあい福祉バザー」を今年度は開催時期と会場を変更して開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 令和7年2月9日（日）

9時30分～11時30分

会場 大月市総合福祉センター
6階多目的ホール

バザーでの売上金は各福祉団体への助成金や市社協が行う地域福祉事業へ役立てられます。

※詳細については、改めてチラシや回覧等でお知らせします。



問合せ先：大月市社会福祉協議会
地域福祉担当TEL: 23-2001

大月市委託事業

介護予防・生活支援サポーター養成講座

を開催します！

大月市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしく元気に暮らすことができるような地域を目指しています。

介護予防・生活支援サポーターは、支え合い・助け合い活動などのボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献をしていただき、お互いに助け合いながらこれからも元気に過ごしていこうというものです。

今回の講座では、介護予防についての基礎知識やボランティアの際のコミュニケーションのとり方など、介護予防・生活支援サポーターとしての基礎が学べます。

受講された方の中には、サポーターとして、買い物の補助や掃除の補助などの生活支援や施設での話し相手やレクリエーションの補助など様々な場面で活躍されています。

○こんな方におすすめ

- ・困っている方のお手伝いをしたい
- ・施設などでボランティア活動をしたい
- ・やりがいや生きがいを見つきたい
- 日時** 10月11日（金）13:30～16:30
- 場所** 大月市総合福祉センター 3階
- 対象者** 市内在住で活動に興味がある方
- 参加費** 無料
- 定員** 20名

※今回、都合が付かない方でも、同様の内容で

2/19（水）にも開催します。是非ご参加ください。

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 地域福祉担当 電話 23-2001(代)



「ゲートボール大会」

6月15日（土）、令和6年度大月市老人クラブ連合会「ゲートボール大会」を開催しました。

当日は快晴の中、選手の皆さんは日頃の練習の成果を充分に発揮していました。この大会は「第41回山梨県ゲートボール大会」の予選を兼ねており、1位の梁川チームと2位の若葉チームが見事に代表の切符を手に入れました（県大会運営の関係上、大月チームと林チームも県大会へ出場しました）。また、出場した選手の最高齢者の方は89歳で「健康で長生きの秘訣は、ゲートボールをしながら皆さんとお喋りを楽しむこととおっしゃっていました。」

選手の皆様おつかれさまでした。

老人クラブ通信



令和6年度山梨県シルバー作品展

に出品しました！

6月14日から6月16日まで県立図書館で開催された県シルバー作品展に、4部門10名の方が出品しました。

このうち、優秀賞1名・金賞1名・銀賞3名・努力賞1名の計6名が入賞しました。優秀賞の日本画については「第36回全国健康福祉祭ととり大会美術展」に山梨県代表作品として出品されます。

出品された皆様、ありがとうございました。



▲日本画の部 優秀賞 伊藤信一さん

お知らせ

能登半島地震被災地に
鎮魂と希望の花火を！

「しらみちよ」さんによる
チャリティーコンサート

が開催されます！

しらみちよさんによる、能登半島地震の被災地・珠洲市大谷町の海岸に鎮魂の花火を打ち上げるためのチャリティーコンサートが開催されます。

入場は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 10月20日（日）

開場14時30分 開演15時

会場 大月市総合福祉センター

6階多目的ホール



報告

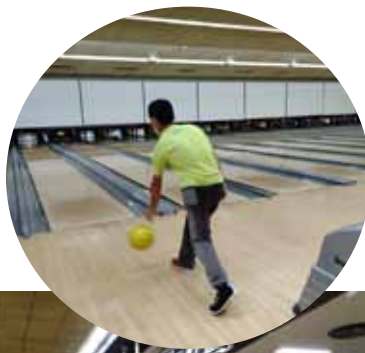
「障がい者ボウリング大会」 8/25

今年も「障がい者ボウリング大会」を、都留市の「都留ファミリィボウル」さんに、ご協力いただき実施しました。

ボウリングは、障がいの有無に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。当日は昨年度よりも多い60名を超える参加者で大にぎわい。

参加した皆さんは、一球投げること、一喜一憂して楽しそうでした。ハイタッチと拍手が絶えない和気あいあいとした雰囲気の中でゲームをすることができ、親睦を深めることが出来ました。

さあ今日から練習を始めて、来年は賞品をゲットしましょう！



～こんにちは！児童館です～

「夏まつり」

8月20日（火）夏の大イベント「児童館の夏まつり」を開催しました！

主任児童委員さんや大月市役所の皆さんのご協力のもと「おたのしみすくい」や「わなげ」「ナイスインボール」「お菓子つかみ」を行い、各コーナーに大勢の親子が参加し、ゲームを楽しんでいました！終始みなさんの楽しそうな様子がうかがえ、よかったです！

児童館では、まだまだ楽しいイベントを計画しています。

まだ児童館に来たことのないお友達も、ぜひ遊びに来てね！！



「第23回社会福祉チャリティーゴルフ大会」

が開催されました！

9月16日（月・祝日）「花咲カントリー倶楽部」において、178名の参加により開催されました。

大会のチャリティー収益金等（305,173円）は、大会実行委員会から大月市社会福祉協議会へ寄付され、社会福祉協議会を通して市民福祉向上のために活用されます。

主催

第23回社会福祉チャリティーゴルフ大会
実行委員会 委員長 小宮 文男

成績

総合の部 優勝 星野 勝
女子の部 優勝 坂本 明美
シニアの部 優勝 小林 正幸

（敬称略）

●大会開催に際し、寄附及び賞品の提供していただいた方

・寄 附 花咲カントリー倶楽部様

小宮文男様、外1名匿名

・賞品提供 (合) Arete

代表 卯月潔様、

小林雅英様

ありがとうございました。



2024年10月

我が家のプチ自慢



ジムくん

投稿者：Yさん（大月町）
家に来た頃は身体が小さかったのに、みるみる内に大きくなり今では体重25kgに！
性格はビビリだけど、優しく言うことも良く聞くととても可愛い子です。



ルーちゃん

投稿者：ルーのパパとママ（七保町）
食えること、お散歩が大好きなルーは、ご近所にあいさつしに行くことが日課です。みんなにたくさん可愛がってもらい幸せ者です。

<< 編集後記 >>

まだまだ日中は暑い日がありますが、日の入りもぐっと早くなり季節の移り変わりを感じます。早いもので2024年もあと3ヶ月となりました。

「令和の米騒動、お米が消えた夏」どこのお店に行ってもお米が売っていない…。その光景を見ると怖くなり焦りました。災害時の備えなどとして、ある程度の買い置きは必要であり、いつ何が起るかわからないと改めて実感した夏でした。

今号もお読みいただきありがとうございました。
（総務担当 安藤史江）



ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るくいしあわせな社会を建設す
る姿」を表現しています。



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。



マイキーくん

投稿者：Aさん
（大月町）
可愛い顔をすれば何でも許してくれると思っている。ビビリですぐに怒るけど甘えん坊。最近太り気味でダイエットに勤しんでいます。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会

社会福祉協議会（略して、社協）は住民の皆さんの参加と
ささえあいによって、「福祉のまちづくり」を推進することを目的と
する民間の団体です。

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ホームページ：<http://www.otsuki-shakyo.jp/>

メールアドレス：fureai@otsuki-shakyo.jp